

東京都現代美術館 様

MUSEUM OF CONTEMPORARY ART TOKYO

EasyTactix® 導入事例



photo: Kenta Hasegawa

東京都現代美術館様のご紹介

東京都現代美術館は、現代美術の振興を図り芸術文化の基盤を充実させることを目的として 1995 年 3 月に開館。約 5,500 点の収蔵作品を活かして、現代美術の流れを展望できるコレクション展示や大規模な国際展をはじめとする特色ある企画展示など、絵画、彫刻、ファッション、建築、デザイン等幅広く現代美術に関する展覧会を開催している。また、美術関係図書資料総数 27 万冊を揃えた美術図書室を備え、美術に関する情報提供、教育普及を目的としたワークショップや各種講座や講演会等の美術を広める活動を行っている。

〒135-0022 東京都江東区三好 4-1-1(木場公園内) <https://www.mot-art-museum.jp/>

子供から大人まで、障害の有無に関わらず様々な人々が
芸術文化に触れることができる環境を整える

学芸員で主に学校向け、一般向の教育普及プログラムの企画、実施をご担当されている鳥居茜様にお話を伺いました。

東京都現代美術館では開館以来、幅広い来館者を対象とした様々な教育普及プログラムを実施してきました。リニューアル・オープンを迎えた2019年度からは、バリアフリー対策事業により一層力を入れています。東京都は、東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会の招致を機に、2015年に芸術文化振興の指針となる「東京文化ビジョン」を策定しました。その文化戦略の一つとして「あらゆる人が芸術文化を享受できる社会基盤を構築」することを打ち出し、「すべての子供や青少年、障害者が芸術文化を享受できる仕組みを推進する」ことや「文化施設において子供や高齢者、障害者、外国人など、様々な人々がストレスなく芸術文化に触れるができる環境を整える」ことなどを、目指す方向性として示しています。こうした背景を受け、都立文化施設の一つであ



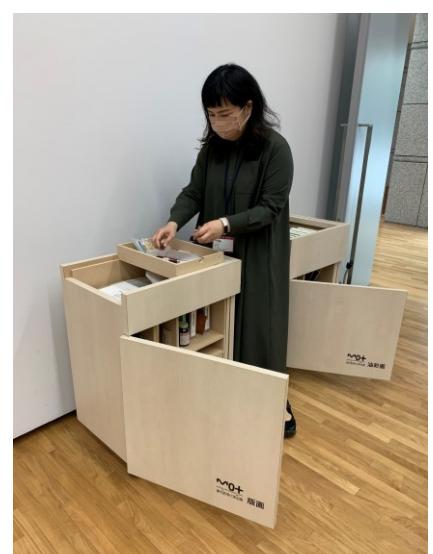
事業企画課 教育普及係 学芸員
鳥居 茜 様

る当館では、施設面でのバリアフリーのみならず、教育普及事業の側面からも取り組みを行うこととなりました。教育普及係が実施する主なバリアフリー対策事業には、プログラムにおける手話通訳士の導入や特別支援学校・学級を対象としたアーティストの一日学校訪問、鑑賞サポートツールの作成などがあります。このうち鑑賞サポートツールとして 2019 年度から「触察ツール」の作成に取り組んでいます。EasyTactix は、この「触察ツール」等の作成に使用しています。美術鑑賞をサポートする本ツールは、子供から大人まで、障害の有無にかかわらず幅広い方々を対象としたものです。

美術鑑賞のサポートツールである「触察ツール」を作成するため
に適したツール、機器は?

活動の 1 つとして実施しているのは、直接触れることが出来ない版画や油彩画作品を「触察ツール」を介して触ることで美術鑑賞の世界を広げていただく試みです。対象は、障害のある方だけではなくすべての方々です。

本ツールの作成を進める中で、ある日、都内の視覚特別支援学校の先生を対象に銅版画の作成プロセスを実際の銅版（写真）を使用して説明させていただきました。全盲の先生から作成のプロセスは概ね理解できたがどのような作品に出来上がっているのかを知りたいとのご意見をいただきました。言葉として頭に入ってきた情報が、実際に図柄に触れてみるとことで、より深い体験として実感され得る、という理由からでした。この事を契機に平面的な作品の絵姿を伝えるための機器の調査を始めました。様々な機器を探していく中で EasyTactix に出会い他製品との比較検討をしました。実機を見る機会があり説明を聞いたところ導入条件に最も合っていることがわかり導入を決定しました。



点字を混在させた精細な触察ツールが簡単に作成、印刷できる

EasyTactix の導入前には、触察ツール作成用機器導入候補がいくつかありましたが検討を進める中で点字を入れたカラーの触察ツールを簡単に作成できる EasyTactix の導入を決定しました。主な導入決定理由は、以下 5つです。

- ① 触察に適した精細な立体表現ができる。
- ② インクジェットプリンターを併用する事でカラーの触察ツールの作成ができる。
- ③ Microsoft Word で点字文書が簡単に作成でき、イラストなどの触図と点字を混在して印刷ができる。
- ④ 立体印刷物の作成を外部に依頼すると多額の費用と納期がかかるが短期間に安価に少量印刷にも対応できる。
- ⑤ コンパクトなプリンターなので持ち運びが容易である。

日頃業務で使用している Windows 対応のノート PC にプリンタードライバーと点字アドインソフトをインストールし、EasyTactix を USB 接続する事で Microsoft Word で点字文書が作成でき、そのまま点字が印刷出来るのがとても便利です。また、印刷時に音がほとんどしないこともオフィス環境には良いと思います。



photo: Kenta Hasegawa



EasyTactix とインクジェットプリンターで作成された触図

ラミネート加工した触察ツールでコロナ禍にも対応

現在、触察ツールの中でも繰り返し使用する閲覧用のフロアマップや鑑賞サポート用の触図などはラミネート加工をし、立体印刷をしています。作成手順としてはインクジェットプリンターでカラー印刷をした後、ラミネート加工（手貼り）をし、最後に EasyTactix で立体印刷をします。極薄のラミネートを使用していますので点字や精細な立体表現が損なわれることなく印刷できます。また、ラミネート加工する事で耐久性、防水性が向上し、コロナ禍での消毒を繰り返しての使用にも適しています。

EasyTactix を使用した触察ツールの作成、運用は始めたばかりである事とコロナ禍で様々な制約がある中、未だ多くの使用実績とその評価があるわけではありませんが観賞サポートツールとして有効であるのではないかと思います。触察ツールはあくまで補助的なツールではありますが多くの方に実際に触れていただき、美術の理解をより深め、楽しんでいただく機会となればと願います。

触察用フロアマップ配布のお知らせ

視覚障害のある方にご活用いただけるよう、開催中のコレクション展の触察用フロアマップを作成しました。本マップには、大まかな作品配置と作家名などが記載されています。インフォメーションで閲覧用のマップをご用意しているほか、希望される方には事前に配布して館内案内として活用しています。



無料配布している触察用フロアマップ(点字入)



photo: Kenta Hasegawa



※本件に掲載する社名、団体名、製品名は、各社、各団体の商標または登録商標です。



ナッジ株式会社 NUDGE Inc.

〒162-0802

東京都新宿区改代町 3

レジオンクラウンビル 4F

Tel: 03-6457-5966

Web: <https://creativethings.jp/>



[creativethings](http://creativethings.jp/)